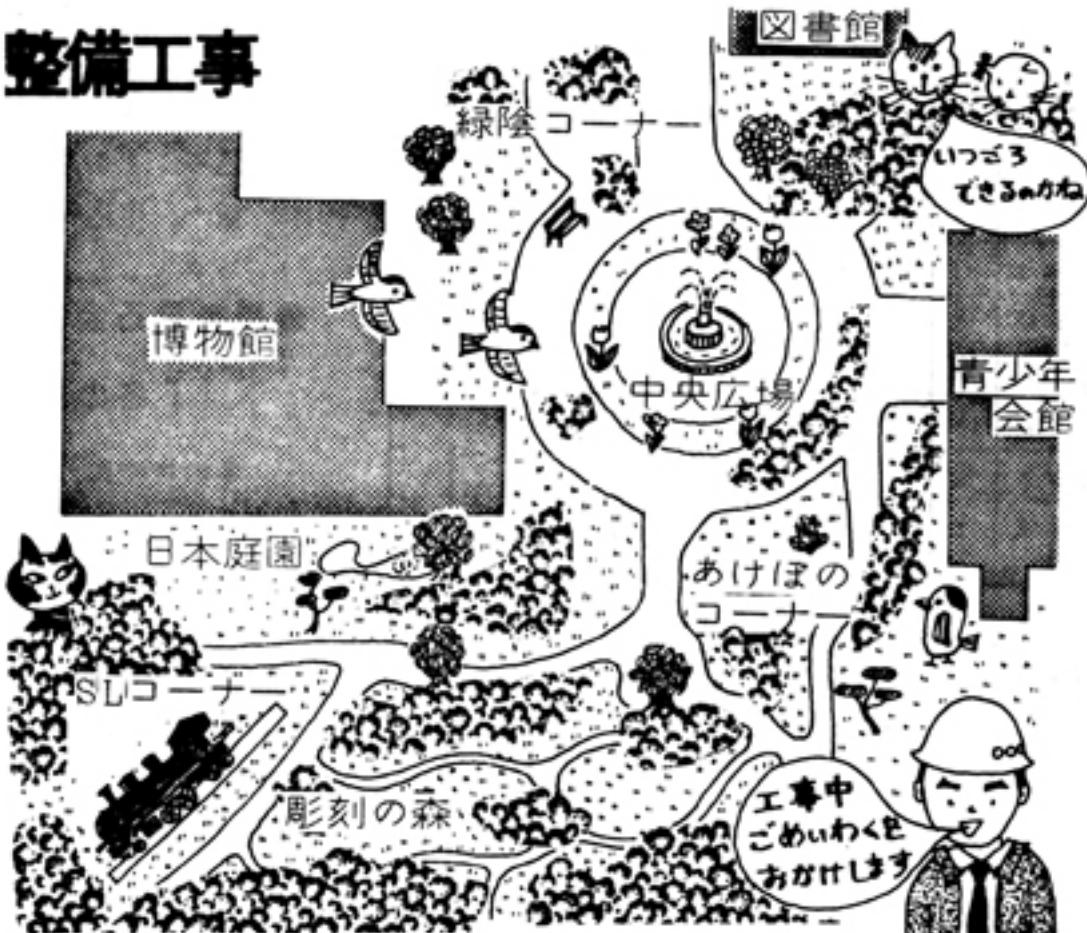


# ひらつかん

HIRATSUKA CITY MUSEUM VOL. 6 NO. 8 1981. 11. 1 平塚市博物館 TNO. 67

## 進む文化公園整備工事

昭和56年7月10日より始まった文化公園整備工事は、現在、工程の3・4割を消化し、昭和57年5月31日の完成を目指して、着々と進んでいます。この公園は園路に囲まれた6つのコーナーから成り、面積は約8,000坪になり、「石と水と緑」を基調にした文字どおりの憩いの場になります。各コーナー別に内容を拾ってみますと次のとおりです。



### ※中央広場

広場の中央に噴水池があり、その中心に石柱と5つの石山からなるモニュメントがある。噴水は2種類あり、池のまわりから霧状の噴水が、中央から水柱の噴水が5本あがる。また照明設備も付いて、夜間もすばらしい。

### ※緑陰コーナー

木陰の落着いたスペースで、各施設利用者等の読書・談話・休息の場になる。

### ※あけぼのコーナー

ここに「平塚の木」を植え、市民に親しんでもらう場である。また屋外展示場として市民の作品発表や、中央広場での催し物のステージとしても利用できる。

### ※日本庭園

ユリの木の下に小さな滝、せせらぎがあり、池へと流れ込んでいる。西側には野点の場があり、博物館の茶室とともに利用できる。南側は生垣で囲まれ、落着いた雰囲気の庭園となる。

### ※彫刻の森

林の中に曲がりくねった小道と小高い丘があり、自由に歩き回れる。要所に石像・彫刻等が置かれ、付近にベンチがあり、ゆっくり鑑賞したり、休憩できる。

### ※S Lコーナー

D-52型蒸気機関車が展示、保存されている。見学者は車輪や機関車をのぞき込んだり、プラットホームに立つと仔細に見ることができる。

# 11月の行事

1	日	プラネタリウム
2	月	休館日
3	火	休館日(文化の日)
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	プラネタリウム 古文書講読会
8	日	プラネタリウム
9	月	休館日
10	火	
11	水	
12	木	デッサン教室
13	金	デッサン教室
14	土	プラネタリウム 石仏を調べる会 土曜観察会「ドバトの観察」
15	日	自然観察会 秦野市岸付近 プラネタリウム
16	月	休館日
17	火	
18	水	
19	木	
20	金	
21	土	星を見る会「金星と秋の星雲」 プラネタリウム 古文書講読会
22	日	プラネタリウム
23	月	休館日(勤労感謝の日)
24	火	休館日
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	プラネタリウム 石仏を調べる会 土曜観察会「高麗山の季節ごよみ」
29	日	体験学習「巣箱を作ろう」 プラネタリウム
30	月	休館日

# 12月の行事

## ●自然観察会

### 「冬の野鳥をたずねて」

ツグミ、ショウビタキなど人里を訪れる冬の野鳥を観察します。

日時：12月13日(日)9時～15時 雨天中止

場所：平塚市吉沢付近

申込み：11月30日までに往復ハガキで博物館へ。申込み多数の場合は抽選で30名。



## ●星を見る会

### 「冬の星座をさがそう」

冬の夜空に、オリオン座やおうし座などの星座をさがします。

日時：12月19日(土)17時～19時

場所：博物館科学教室

参加は自由ですので当日科学教室へお集まりください。なお、雨天備天時も行います。



## ●体験学習シリーズNo.60

### 「おかざりを作ろう」

正月に家の玄関などにかざるオカザリを作つてみます。

日時：12月20日(日)10時～15時

申し込み：12月9日までに往復ハガキで

定員：先着30名



## ●土曜観察会

12月12日(土) 午後3時～6時

「カラスのねぐら」 高麗山

1月 9日(土) 午後2時～5時

「シジュウカラの群」 大磯・紅葉山

参加希望者には参加のしおりをお送りしますので、60円切手を同封して、封書で申し込んでください。館受付でもしおりを配布しています。



## ●冬のプラネタリウム

星座のさて美しい冬、プラネタリウムで星座や宇宙、時間や地球のことを調べましょう。  
投影の話題／12月「日時計の話」 1月「青い地球」 2月「西暦とは」

## ●寄贈品コーナー

毎月テーマを決め、寄贈して頂いた資料の展示や、館の行事の紹介を行っています。  
11月 「サマーセミナーの思い出」  
12・1月 「野鳥の世界」



10月 21日	10月 20日	10月 17日	10月 13日	10月 9日	10月 7日	10月 2日	9月 30日
来年度予算について打ち合せ。 伊勢原県道予定地（豊田）の発掘調査 に入る（明石）。	月末休館日に「太陽と私たち」の回転 バネルを補修（鷹・森田）。	所蔵資料目録発行の入札（土井）。	市政に親しむ会参加者八名来館。	博物館協議会開催。	故障し、翌日補修。	プラネタリウム投影中、機械の一部が 成城大学より博物館学の受講生三十名 が来館（小川）。	月末休館日に「太陽と私たち」の回転 バネルを補修（鷹・森田）。

登場人物  
平塚

## 平野に君臨したサガミの長 一真土大塚山古墳一

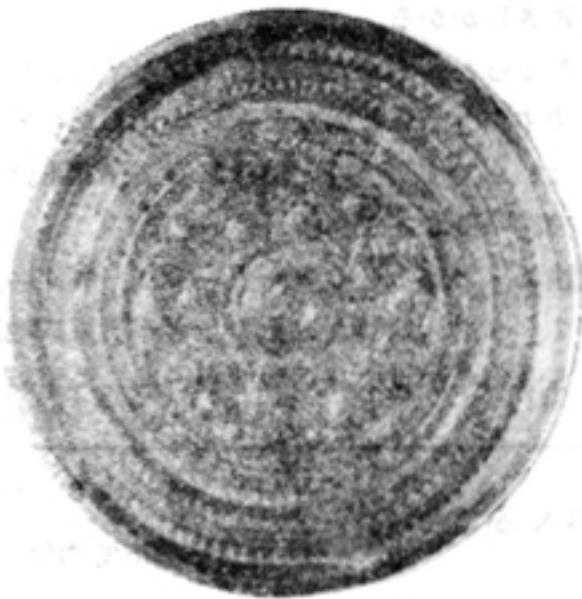
つい先頃、新聞紙上で取り上げられて話題となった「日本三角縁神獣鏡に関する問題」（中国社会科学院考古研究所の王仲殊副所長）は、日本の古代史学・考古学に大きな波紋を投げかけました。従来、三角縁神獣鏡は「女王卑弥呼が中国の皇帝から授かれた古鏡」と言われてきましたが、今回の論旨は「吳から日本に渡った中国工人による製作」と言うことであり、これは邪馬台国の所在地のみならず大和朝廷の成立過程にもかかわって、今後あらゆる角度から検討されるべき発表でした。

さて、問題となった三角縁神獣鏡は平塚の真土大塚山古墳からも1面出土しています。この古墳は真土神社の西約300mの所にありました。現在は日産車体寮が建っていて、形は残っていません。東西に延びる砂丘の最高地点に築かれ、形態は前方後円墳、前方後方墳などとも言われていますが、調査者は円墳としています。

この古墳からは、三角縁神獣鏡のほか、変形四神鏡1面、銅鏡、巴形銅器、直刀、刀子、やりがんな、楔形鉄器、玉類（勾玉・ソロバン玉・管玉・ガラス小玉）、土器などが出土しています。写真の三角縁神獣鏡は径21.8cmで2階展示室「鏡

の道」のコーナーにレプリカが展示されています。以上のような出土遺物から大塚山古墳がつくられたのは5世紀の始め頃と考えられ、古代のサガミ国では一番古い古墳になります。この古墳の被葬者は出土した鏡が京都府山城町椿井大塚山古墳の鏡と同型（同じ鋳型で作られた）である点から、大和朝廷から分与された政治的勢力に結びついた人物と想像され、サガミ国一円を支配していた地方豪族長と考えられます。大塚山古墳にはサガミ国の実態を解く大きな鍵が秘められているのです。

(A)



## ◆◆ 「紙をすこう」に参加して (10月11日) ◆◆

木の枝が紙になるなんて不思議です。木にてたたいて、繊維をほぐし、とろろあおいを加えてすき具ですいたら、紙になってしまします。本当に不思議です。皆で試してみましたが、なかなかむずかしく、分量の加減でも出来がちがってくるようです。先生の指導のもとに楽しい和紙づくりでした。さわると厚くてかたい和紙、おいでみるとやわらかくてやさしい和紙、和紙っていいなあ。

(岡崎 宗像正江さん)



なかなかおもしろかった。ただちょっと人数が多いすぎて、少ししかできなかつたのが残念。これからもおもしろいためになることをたくさんやってください。

(浅間町 三上英子さん)



### ☆職員がかわりました――

10月1日付けで管理係の本荘主任が図書館に異動し、かわって下水道部業務課から白井主任が着任しました。現在、館のスタッフは佐藤館長、前場管理係長以下、管理係が白井、村山、笠尾、学芸係が土井(歴史)、浜口(生物)、森田(美術)、森(地質)、明石(考古)、小川(民俗)、岩上(天文)、鷹(天文)の計13名です。今後ともよろしくお願いいたします。

## ○虫めがね○

ある日、館内巡回中の会話を紹介する。  
二階の「東海地震にそなえて」という展示コーナーにさしかかる。

「ちょっと、あんた博物館のひと?」。「はいそうですが」。「こんなことを展示したら問題にならないんですか?」と迫られる。子ども連れの中年夫婦の奥さんである。

問題だ、と迫るこのコーナーでは、マグニチュード7、9を記録した大正12年の関東大地震や昭和53年の伊豆大島近海地震、同じく宮城県沖

地震などの被害状況や、170市町村が指定された「東海地震防災対策強化地域」の背景と「警戒宣言」がどのような経路で市民に報らされるなどを写真やパネルによって紹介している。

地震の被害がその地盤と密接な関係にあることはご存知のとおりだが、平塚の地盤はどうなのかを表示したことが「問題だ」ということらしい。

しかし、調査結果による事実を情報提供している立場からすると、「ならば日頃から備えを」という発想にならないのが残念ではある。(貞)

はくぶつかん

VOL. 6 N°8 通巻67号 印刷 平塚市総務部総務課文書係 ©5000

発行 平塚市博物館 TEL 33-5111